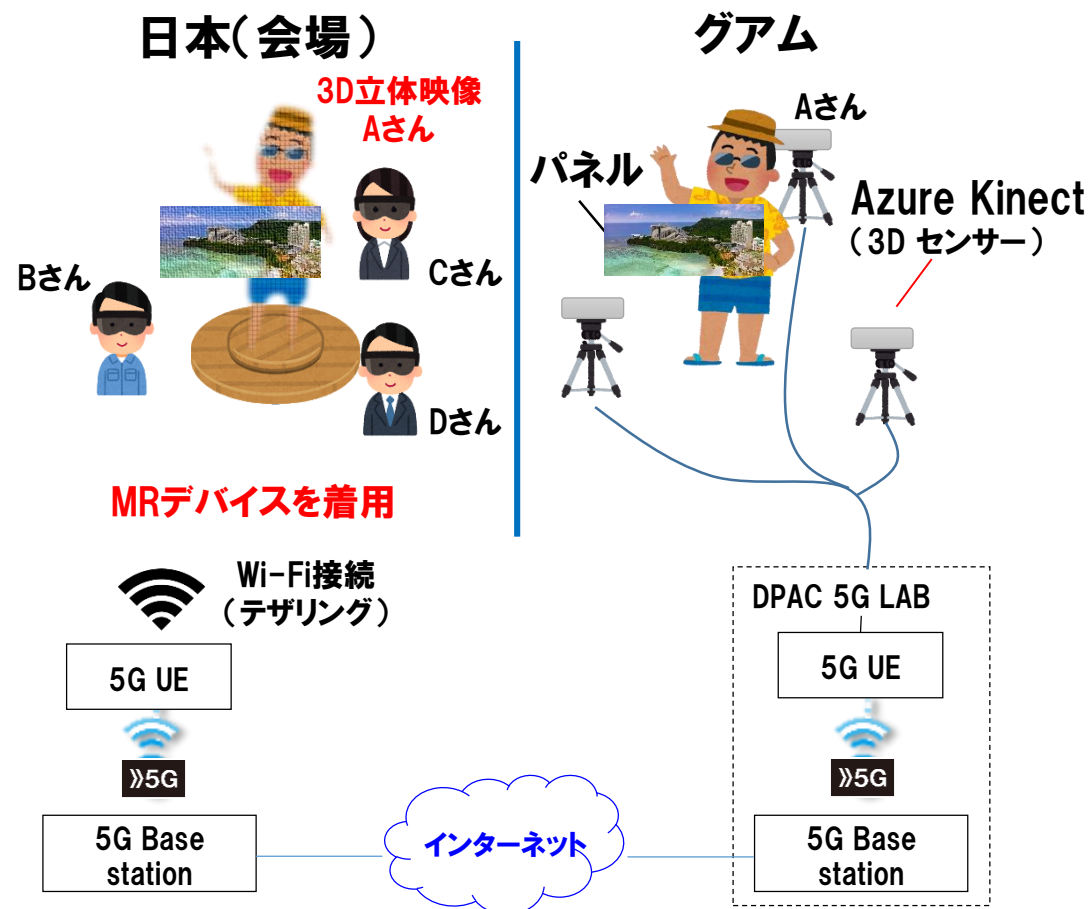


「HOLO - COMMUNICATION (仮)」による空間を超えた新しいコミュニケーション

- (1) Aさん(ゴム): 複数台のカメラ(Azure Kinect)で
3D立体映像化する人物やパネルを撮影
- (2) Bさん(会場): MRデバイスを通して3D立体映像化された
ゴムの人物等が目の前に現れ、会話も可能
(CさんDさんも同様)



提供価値

高速大容量 **低遅延**

実証実験/PoC段階

- 5Gの高速大容量と低遅延を活用し、3D立体映像による遠隔コミュニケーションを実現。これにより、遠隔地にいる人ともまるで目の前にいるかのように会話ができ、会議のために遠くまで行く必要がなくなる。
- 活用例: 日本にいながら海外留学体験。面接やプレゼンテーションへの活用等ビジネス環境の改善。観光案内への活用等

グローバルゾーンにて体験できます!

概要

- (株)イトーキと(株)ホロラボ共同研究開発の次世代遠隔コミュニケーションシステム「HOLO - COMMUNICATION (仮)」と DOCOMO PACIFICの5Gネットワークを活用したゴムと本会場を繋いだリアルタイムデモ
- 5Gの高速大容量と低遅延により、日本にいながら2500Km離れたゴムの外国人と臨場感ある1対1または1対多のコミュニケーションを提供
- ゴム(遠隔地)にいる実際の人物の3D立体映像と音声を高品質に伝送し、リアルタイムに相互コミュニケーション可能

コラボレーションパートナー


 明日の「働く」を、デザインする。
 We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.
